

(7) 国際交流推進センター**① 国際交流推進センター****ア 設置の趣旨（目的）及び組織**

国際交流推進センターは、本学の特色を生かし、国際的な学生交流及び学術交流の推進並びに教育研究の充実を図るとともに、学校及び地域社会等との連携により、国際的な視野を持った人材を養成することを目的として設置されている。

本センターは、センター長、センター教員、兼務教員及び協定校アドバイザーにより構成されている。

本センターの運営に関する重要事項を審議するための国際交流推進センター運営委員会及び本推進センターの業務を遂行するための部会が設置されている。部会は、2部会を設置し、協定校交流推進専門部会は協定校との交流推進等、留学生支援専門部会は留学生の修学及び生活上の指導等を担当している。

イ 運営・活動の状況

平成30年度における本センターの主な運営・活動状況は、以下のとおりである。

- i) 交流協定校からの訪問団の受け入れを行った。（平成31年1月：国立嘉義大学（台湾））
- ii) 交流協定校であるヴォー州教育大学（スイス）の教員を外国人研究者として受け入れ、平成29年度から実施している共同研究を引き続き実施した。
- iii) 海外との研究交流事業の実施（本学教員の派遣1人（台湾）、外国人研究者の受け入れ2人（イギリス、アメリカ））のほかに、ポーランドからの研究者1人を受け入れた。
- iv) 「外国につながる子どもたち」への修学支援事業を実施した。（参加本学学生27人、参加児童生徒19人（※通常支援参加学生人数））
- v) 37人の外国人留学生を受け入れ（平成30年10月1日現在）、日本語補講をはじめ、日本文化研修（行き先：魚沼市）、スキーのつどい（1泊2日、場所：安塚キューピットバレイスキー場）などを実施した。
- vi) 海外教育（特別）（実践）研究C（韓国：参加学生数5人）及びB（アイオワ：参加学生数11人）、海外（実践）フィールド・スタディ（オーストラリア：参加学生数2人）を実施し、現地で英語による授業実践や文化研修等を行った。
- vii) 短期海外研修プログラム（台湾：参加学生7人）を実施し、現地で協定校附属学校の授業見学や学生交流、文化研修等を行った。
- viii) 国際交流ファシリテーター養成事業を実施し、ワークショップにおいて地域の学校における国際理解教育に貢献した。
- ix) 語学講座、留学生が語る／留学生と語る会、世界を語ろう！、国際交流のつどい等を実施し、留学生と日本人学生及び地域住民が交流した。
- x) 国際理解教育派遣プロジェクトにより、留学生を上越地域の学校等に派遣し、学生の異文化理解に貢献した。

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

平成30年度において、外国人留学生の積極的な受け入れにより、平成30年10月1日現在で37人を受け入れた。さらに協定校からの留学生の受け入れ増加を図るため、協定校を卒業し本学大学院に入学する留学生に対して、検定料、入学料の減免措置を行う制度を設定した。

留学生関係行事について、上越市地方創生推進事業補助金を獲得し、これにより上越地域のスキー場

において留学生スキーのつどいを実施した。

② 運営委員会

ア 設置の趣旨（目的）及び組織

i) 組織設置の趣旨（目的）

国際交流推進センター運営委員会は、本センターの運営及び業務の推進並びに本センターの事業計画に関する事項等を審議することを目的としている。

ii) 組織の構成及び構成員等

運営委員会は、センター長、センター教員、兼務教員及びその他学系又は専攻・コース等から学長が指名した者15人で構成されている。

また、運営委員会の下に、協定校交流推進専門部会及び留学生支援専門部会の2専門部会が置かれている。

イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

平成30年度において、運営委員会は5回開催するとともに、書面審議を7回行った。また、協定校交流推進専門部会を2回開催し、留学生支援専門部会を3回開催した。

ii) 審議された主な事項

平成30年度において審議された主な事項は、①外国人留学生の受入れ、②外国人研究者の受入れ、③海外との研究交流事業計画、④年度計画に関する自己点検・評価、⑤学内予算要求・要望計画等である。

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

本センターは、国際戦略及び国際交流に係る基本方針を定め、この中で「異文化コミュニケーション能力と異文化理解マインドを持った教員養成の一層の充実」及び「学校教育とその教育者養成に関する国際レベルでの研究推進の拡充」を重点目標とし、各種事業に取り組んでいる。

平成30年度においては、①協定校（国立嘉義大学（台湾））からの訪問団の受入れ、②外国人留学生の積極的な受入れにより平成30年10月1日現在で37人の受入れ、③国際交流ファシリテーター養成事業の充実を図り、大学院学生23人の参加の下、上越地域の小学校などで19回のワークショップを実施するなど、従来の事業と併せて、国際交流の充実、外国人留学生の受入れの促進、グローバル化への対応の充実を行った。